笑顔あふれる 大崎の創生

平成28年度の主な事業

（施政方針より抜粋）

　平成28年第1回大崎市議会定例会の冒頭、伊藤市長は今年度の市政運営の基本的な考え方や重要施策をまとめた施政方針を述べました。

　その中から、主な事業をお知らせします。

政策課政策企画担当 23-2129

市民が主役協働のまちづくり

総合計画

▼総合計画は平成28年度が最終年度となることから、平成29年度からのまちづくりの指針となる「第二次総合計画」の策定を進める。

宝の都（くに）・おおさき市地方創生総合戦略

▼地域課題の総合的解決と魅力あふれる地方創生を実現するため、「人口ビジョン」・「地方版総合戦略」に基づき、持続可能な地域社会の実現に向け施策を推進する。

大崎市誕生10周年記念事業

▼大崎市誕生10周年記念事業推進協議会内に実行委員会を組織し、各種事業（記念式典、市の花・市の木・市の鳥や市民歌の制定、テレビ番組の誘致、記念映像の作成など）を市民との協働により実施する。

市役所本庁舎などの建設

▼市役所本庁舎は、基本構想の策定に着手する。

▼田尻総合支所庁舎は、地域住民との話し合いを踏まえ、建設候補地を現在地として事業を推進する。

▼鳴子総合支所庁舎は、地域住民との話し合いを重ね、建設場所を選定する。

地域自治組織の支援と市民協働の推進

▼地域自治組織活動の発展のため、新たに地方創生に伴う地域自治組織戦略体制整備モデル事業を創設する。

男女共同参画の推進

▼各種事業を展開し、安全・安心で暮らしやすい地域づくりを目指す。

行政改革

▼第二次総合計画、第二次大崎定住自立圏共生ビジョン、公共施設等総合管理計画、宝の都（くに）・おおさき市地方創生総合戦略などの各種計画との整合を図りながら、「第二期行政改革大綱」を策定する。

安全安心で交流が盛んなまちづくり

道の駅による地方創生拠点の形成

▼外国人観光客対応や商品開発などの支援策を活用し、本市の道の駅が地方創生の拠点となるよう取り組む。

鹿島台駅周辺地区整備事業

▼駅前広場などの関連施設の整備を進め、本市の南の玄関口にふさわしい機能と利便性の向上に努める。

三本木パークゴルフ場建設

▼本市が事業主体となり調査・詳細設計を実施し、平成31年度の供用開始を目標に事業を進める。

道路建設事業

▼主要地方道古川松山線の志田橋の完成によって通行車両の増加が見込まれるため、市道下伊場野山王線の整備を進める。

地域公共交通

▼公共交通のマスタープランとなる「地域公共交通網形成計画」を策定する。

防災対策

▼デジタル防災行政無線整備事業は、同報系無線のアナログ波からデジタル波への切替え工事や戸別受信機の配備を行う。

▼市役所本庁舎、各総合支所、鬼首地区公民館に雨量や風速、気温などの気象観測システムを整備する。

国・県管理の河川事業

▼鳴瀬川、吉田川、江合川、田尻川、鶴田川、大江川などは、9・11豪雨災害を教訓とし、早期に治水安全度などの向上が図られるよう、関係機関に強力に要望する。

地域の個性をいかし

豊かな心を育むまちづくり

図書館等複合施設の建設

▼平成28年度の完成を目指し工事を進め、周辺の道路整備を実施する。

学校教育

▼児童・生徒の学力向上や豊かな人間性の育成、体力づくりに取り組む。

▼いじめアンケートなどを行うとともに、関係機関が連携・協力し、未然防止、早期発見・早期対応に取り組む。

学校教育環境整備

▼各地域の学校の統合・再編は、保護者、地域の理解と協力のもとに進める。

生涯学習

▼市民一人ひとりが主体的に生涯学習に取り組めるよう、学習環境の整備や各種生涯学習事業を推進する。

スポーツの推進

▼平成29年南東北インターハイ相撲競技の開催に向け、リハーサル大会の実施や実行委員会の設立を進める。

文化振興

▼平成29年度全国高等学校総合文化祭軽音楽部門の開催に向けて街角音楽祭などを実施し、「音楽が聞こえる都市（まち）づくり」を推進していく。

文化財保護

▼文化財を全国に誇る本市の宝として後世に継承していくとともに、積極的な活用に取り組む。

▼旧有備館および庭園の茶亭の保存修理工事を進める。

活力あふれる産業のまちづくり

湯治文化ビジネス創造事業

▼湯治文化を基盤としたビジネス創造を展開し、新たな観光プログラムや商品開発に取り組む。

産業創造推進事業

▼新たな事業に挑戦できる環境づくりのため、事業者支援の充実に取り組み、地場産製品の販路拡大に努める。

農業の振興

▼地域の担い手を明確化し、米や大豆などの土地利用型農業を力強く促進する。

▼「ささ結」を本市の米のけん引役に位置付け、販売拡大に取り組む。

畜産の振興

▼優良な繁殖雌牛・肥育牛の生産が維持できるよう、生産体制の構築や大崎市産牛のブランド化を推進する。

林業振興

▼大崎市産材を活用した木造住宅へ補助を行い、大崎産材の利用促進を図る。また、植樹イベントなどで市民参加の森づくりを進める。

工業振興

▼誘致した企業の事業拡大へ支援を行うとともに、企業誘致を積極的に展開する。

▼北原工業団地の早期売却に取り組む。また、新たに古川地域新鶴巻地区を選定し、開発可能性を検討する。

商業振興

▼中心市街地空き店舗対策や市内商店街店舗づくりの支援を行い、にぎわいの創出や商店街の活性化を図る。

観光振興

▼大崎市観光振興ビジョンに基づき、本市が有する自然、環境、温泉、歴史などのPRに努める。

▼近年、全国的に増加している外国人観光客の誘客を推進し、国内外の観光客増加に向けた対策を進める。

地域で支え合い健康で元気なまちづくり

健康づくり

▼各種健診の受診率向上やこころの健康づくり、乳幼児への保健対策を推進する。

救急医療

▼夜間急患センターの安定した診療体制の確保に努める。

病院事業の経営

▼昨年発生した不祥事などの再発防止対策に適正かつ厳格に取り組む。

▼医療スタッフの確保・育成体制の強化に取り組み、質の高い医療を提供する。

国民健康保険事業

▼国民健康保険税の収納率向上を図るとともに、医療費の適正化に取り組む。

高齢者福祉・介護保険事業

▼地域包括ケアシステムの構築を進め、高齢者の生活支援体制の拡充に努める。

子育て支援

▼松山子育て支援総合施設あおぞら園の開設や認可保育園・小規模保育施設の新設により、定員を拡大する。

▼公立保育施設民営化計画は、保護者や地域、事業者と協議し順次計画を進める。

自然と共生し環境に配慮したまちづくり

世界農業遺産

▼大崎地域の歴史的背景を踏まえ、地域の理解促進と機運醸成を図りながら、世界農業遺産の認定を目指す。

自然共生の推進

▼生物多様性を育む農業の実践に向けた広域的な基礎調査を実施する。また、次世代を担う小中学生への環境教育事業を展開する。

再生可能エネルギー

▼（仮称）グリーンエネルギーフォーラムを開催し、若者や地域と一緒に、再生可能エネルギーの必要性などを考える機会をつくる。

空き家対策

▼空き家等対策計画を策定し、適切な管理や有効活用に努める。また、特定空き家の除却支援に取り組む。

雨水対策事業

▼公共下水道の雨水対策事業は、古川・松山・三本木・鹿島台地域において推進する。

▼排水路整備事業は、浸水被害の軽減と衛生的な環境整備を図るため、全地域で計画的に整備を進める。

水道事業

▼青山浄水場が平成28年12月に完成し稼働する予定となる。今後は配水管などの更新・整備に取り組んでいく。